

# 令和5年産大崎地域の 大豆作技術情報(第2号)

令和5年6月27日発行  
宮城県大崎農業改良普及センター  
TEL: 0229-91-0726 FAX: 0229-23-0910  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## ～栽培のポイント～

- ・ 茎葉処理剤を適切に散布し、雑草対策を徹底しましょう。
- ・ 中耕培土は2回を目安に実施しましょう。

## 1 気象経過

- ・ 6月第2半旬以降の気温は、かなり高くなりました。日照時間は、6月第3半旬に平年を下回りましたが、他の半旬は、多照の期間が長くなりました。
- ・ 東北南部では、平年より1日早い6月11日に梅雨入りしました。6月第4半旬には、合計65mmのまとまった降雨がありました。

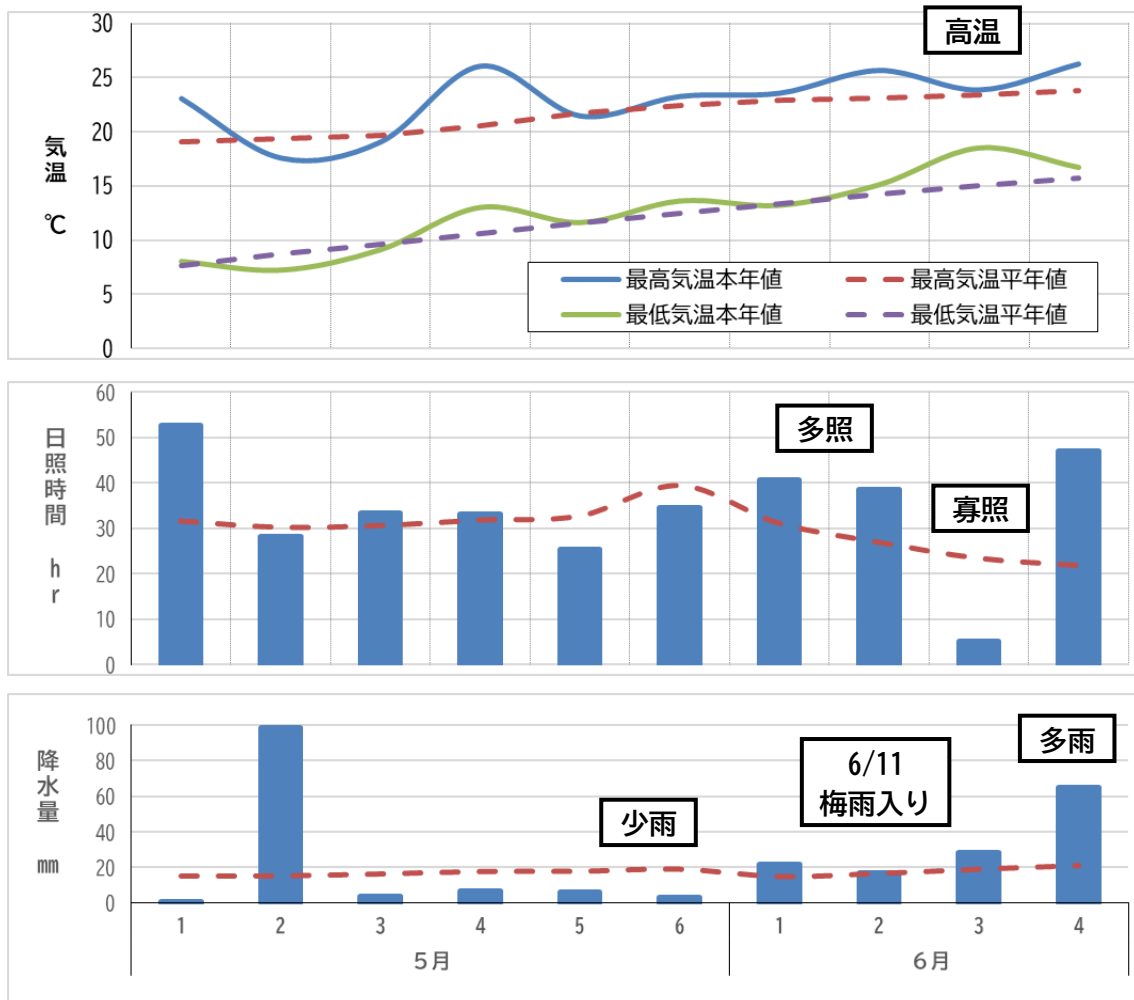


図1 気象経過 (古川アメダス)  
※実線または棒グラフが本年値、点線は平年値

## 2 雑草防除

### (1) 茎葉処理剤散布のポイント

○大豆の2～3葉期（雑草が小さいとき）を目安に散布しましょう。

○ほ場に発生している雑草を確認し、効果が高い除草剤を散布しましょう。

※大豆バサグラン液剤とアタックシヨット乳剤では、効果が高い雑草が異なります！

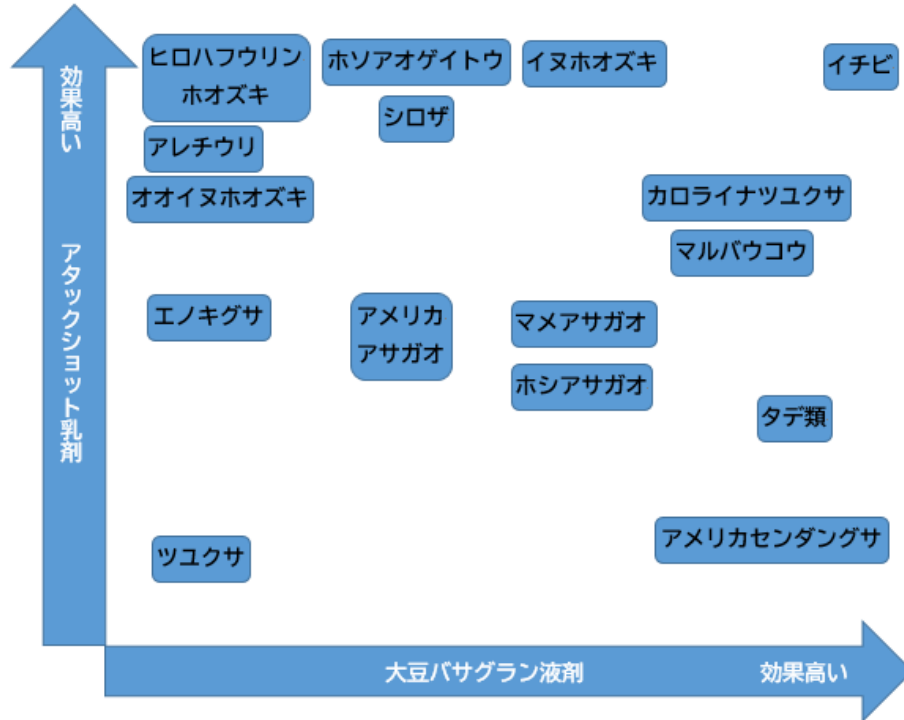


図2 茎葉処理剤の主な雑草に対する効果の差

出典：農研機構中央農業研究センター(2021)『診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル 大豆作における難防除雑草の防除』p.27

#### ▶大豆バサグラン液剤の特徴

○イネ科雑草が混在する場合は、イネ科雑草に有効な除草剤との体系で使用する。

○除草効果を優先する場合は、高温・多照条件で散布する。

○薬害回避を優先する場合は、極端な高温・多照を避ける。

#### 大豆バサグラン液剤の効果が高い雑草



オオイヌタデ



アメリカセンダングサ

▶ アタックショット乳剤の特徴

- 高温で効果が下がる場合があるが、大豆バサグラン液剤より効果の変動は小さい。
- 薬害症状が大豆バサグラン液剤より発生しやすく、低温により症状が大きくなる。
- 他剤との混用により、明らかに薬害症状が大きくなり、生育抑制が助長される。
- 処理後早ければ数時間で萎れや枯れ症状が見られ、処理後2～4日で枯死する。

表1 アタックショット乳剤の品種間差

リスク	品種	備考
小	ミヤギシロメ、タンレイ、 きぬさやか、すずみのり	減収につながる生育抑制を生じた事例がない
中	タチナガハ	タンレイと比べて、初期の生育抑制が強く、その後の回復が不十分となる場合がある

出典：宮城県(2023)『みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針』p.79

※1 2015-2018年の古川農業試験場の場内試験に基づく

(大豆2～4葉期に薬量50ml・水量100L/10aで処理)

アタックショット乳剤の効果が高い雑草



シロザ



ホソアオゲイトウ



イヌホオズキ

▶ パワーガイザー液剤の特徴

- 大豆の出芽直後でも全面処理できるため、雑草の発生が早い場合でも対応できる。
- 作用発現はやや遅効的で、薬剤の散布後約1週間で変色し、2～3週間で枯死する。

表2 茎葉処理剤一覧

除草剤名	対象	使用時期	希釈倍数使用量 (散布液量)	本剤の 使用回数
大豆 バサグラン 液剤	一年生雑草 (イネ科を除く)	大豆の2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) (ただし収穫45日前まで)	100～150mL/10a (100L/10a)	1回
アタック ショット 乳剤	一年生広葉雑草	本葉2葉期～開花前 (雑草生育期) (ただし収穫45日前まで)	30～50mL/10a (100L/10a)	1回
パワー ガイザー 液剤	一年生雑草	出芽直前～3葉期まで (雑草発生始期～2葉期)	200～300mL/10a (100L/10a)	1回

※1 農薬の登録情報(令和5年6月21日現在)

## (2) 難防除雑草対策のポイント

難防除雑草（アレチウリ、帰化アサガオ類等）は、種子の発生量が多く、ほ場への蔓延が非常に早く拡大していきます。大崎管内においても、多発ほ場が散見されています。ほ場の内外で発生がみられたら、早めの対策を行い、拡大防止に努めましょう。



多発した帰化アサガオ類  
(大崎市古川)

### ▶ 難防除雑草は入れない・広げない

- ほ場の周辺に気を配る  
⇒畦畔などほ場の周辺から侵入することが多い。
- 雑草を他のほ場に移動させない  
⇒発生ほ場の機械作業は最後に行い、終了後は清掃を徹底する。
- 侵入初期に手取り除草を含めて徹底的に防除する。

### ▶ 茎葉処理剤散布のポイント

- 大豆の2~3葉期（雑草が小さいとき）を目安に、早めに散布する。
- つるが伸びると大豆に絡みつき、薬剤が掛かりにくくなるので、つるが伸びる前（小さいうち）に散布する。  
※つるが伸びて大きいものは手取りで除草する。
- 難防除雑草の発生期間は長く、一度防除しても後発の雑草が生えてくる。そのため、異なる剤の組み合わせにより、茎葉処理剤を複数回散布する体系を組む。



つるが伸びる前に薬剤散布しましょう

帰化アサガオ類

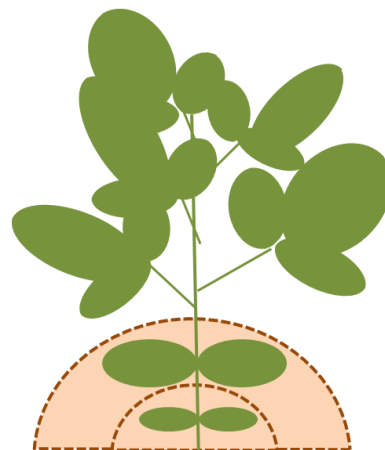
アレチウリ

### 3 中耕培土

中耕培土には不定根による生育促進や土壌の攪拌による雑草の耕種的防除等の様々な効果があります。作業時期に合わせて適切に実施しましょう。

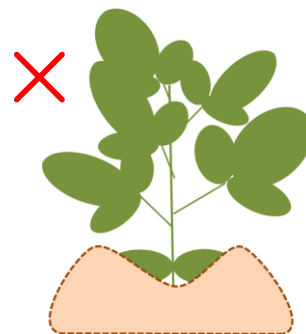
表3 中耕培土の目安（5月下旬～6月上旬播種）

回数	作業時期	培土の高さ
1回目	本葉2～3葉期	子葉節が隠れる程度
2回目	本葉6～7葉期	初生葉が隠れる程度



#### ▶中耕・培土の留意点

- 効果を高めるために必ず2回行う。  
※雑草の発生が著しい場合は3回実施
- 遅くとも開花の10日前までに終わらせる。
- 株元へしっかり土寄せする。  
株元に土が掛からないと、以下の悪影響が考えられる。
  - ・水たまりができる（湿害の誘因）
  - ・不定根の発生抑制（生育不良）
  - ・倒伏しやすくなり、刈り取りが困難



**東北地方 1 か月予報**  
(6月24日から7月23日までの天候見通し)

令和5年6月22日  
仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>  
期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	10	30	60
3～4週目	東北地方	30	30	40

